暫定版

CF レコーダ取扱説明書　ver1.0

型式：PXS-NCFR01

このたびは CF レコーダをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくご使用ください。また、本書は大切に保管し、必要なときにお読みください。

プライムテックエンジニアリング株式会社

1.ご使用いただく前に

本製品を安全にお使いいただくために、以下に記載しました警告及び注意事項をよくお読みになった上で、ご使用ください。

	警告	その警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う危険性があることを示します。
	注意	その警告に従わなかった場合、けがを負うおそれのあること、または物的損傷の発生するおそれのあることを示します。

警告 -安全上のご注意-

■異常状態で使用しないでください。
煙の発生、異臭や異音がするなどの異常状態のまま使用すると火災や感電の原因となります。
すぐにケーブルを外してください。

■分解や改造は絶対に行わないでください。
火災、感電、事故の原因となります。

■接続ケーブルは必ず本製品のケーブルをご使用ください
本製品以外のケーブルを使用すると火災や故障の原因となります。
また、ケーブルを傷つけたり、破損、加工、無理に曲げる、ねじる、引っ張るなどはしないでください。

■内部に水や異物を入れないでください
火災、感電、事故の原因となります。もし、入ってしまった場合は接続ケーブルを外して販売店に点検・修理をご依頼ください。

■お手入れ
接続ケーブルを外してから、柔らかい布で汚れを軽く拭き取ってください。ベンジンやシンナーは使用しないでください。

注意 -使用上のご注意-

■結露時はご使用しないでください
本製品の内部で結露が起きた状態で使用すると、回路がショートして故障の原因となります。
結露が起きた場合はケーブルを外して、結露がおさまるまで放置してください。

■電子回路部に触れないでください
電子回路部に静電気が加わりますと破壊・故障の原因となります。取付け作業時は十分にご注意ください。

人感センサの性能についての注意事項

赤外線の変化を検出するセンサです。人体以外の熱源を検出したり、熱源の温度変化や移動が無い場合には検出しないことがございます。一般に以下のような場合には注意が必要ですので、必ず実際の使用状態にて動作確認を行ってください。

(1)人体以外の熱源を検出する場合

・小動物が検出範囲に入った場合

・太陽光、白熱灯などの遠赤外線がセンサに直射する場合

・冷暖房機器の温風・冷風などにより検出範囲の温度が急激に変化した場合

(2)人体を検出しにくい場合

・ガラスやアクリルなど、遠赤外線を透過しにくい物体がセンサと検出物の間にある場合

・検出範囲内の人体がほとんど動かない場合

CF カードについての注意事項

■CF カードは動作確認済みのものをご使用ください

弊社では本製品で使用可能な CF カードをお取扱いしております。弊社製品の CF カードでは十分に動作確認をしておりますが、他社の CF カードをご使用になる場合は下記の動作確認済みの製品からお選びください。下記以外の CF カードをご利用される場合、動作保証は致しませんので、予めご了承ください。

［動作確認済み推奨製品］

型名	メーカー	容量	速度
TS32GCF133	Transcend	32GB	133 倍速
GM-533CF32ML	PhotoFast	32GB	533 倍速
SDCFX4-016G-J45	SanDisk	16GB	300 倍速
BCF15-32G	PQI	32GB	150 倍速

■CF カードは本製品専用でご使用ください

他の機器でご使用後の CF カードをそのまま本製品で使用した場合、レコーダが正常動作しない場合がございます。使用する場合は、必ずパソコンでフォーマットしてからご使用ください。

■CF カードの内容を変更しないでください

他の機器で内容を変更、もしくは削除した CF カードをそのまま本製品で使用した場合、レコーダが正常動作しない場合がございます。使用する場合は必ずパソコンでフォーマットしてからご使用ください。

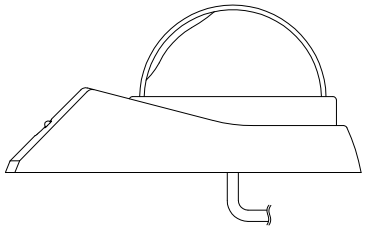
■記録中に電源を切らないでください

記録中に電源が切れると、CF カードのデータが破損する場合がございます。電源を切る前に必ず CF カバーを開き、記録を停止してください。データが破損した CF カードは必ずパソコンでフォーマットしてからご使用ください。

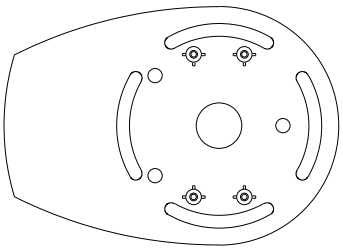
2.製品のご確認

パッケージの中に、下記の物が入っているかご確認ください。

①ＣＦレコーダー本体
②ベース
③防塵ゴムカバー
④ゴムナット(２個)
⑤Ｍ４ネジ(２個)
⑥タッピンネジ(４個)
⑦ＣＤ(映像再生ソフト)
⑧取扱説明書(本冊子)
⑨ＣＦカード（ＯＰ）
⑩延長コード（ＯＰ）
⑪AC アダプタ（ＯＰ）
⑫ＣＦカード抜き冶具（ＯＰ）
⑬トルクスネジ用ドライバ（ＯＰ）
＊OP はオプションになります。

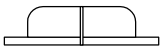


① CFレコーダー本体

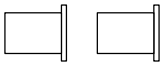


②ベース

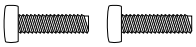
③防塵ゴムカバー



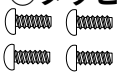
④ゴムナット



⑤Ｍ４ネジ



⑥タッピンネジ

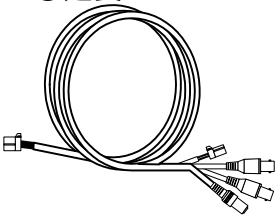


⑦ＣＤ(映像再生ソフト)

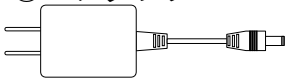
⑧取扱説明書

⑨CFカード

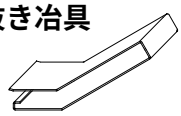
⑩延長コード



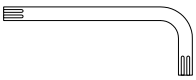
⑪ACアダプタ



⑫ＣＦカード抜き冶具



⑬トルクスネジ用ドライバ



3.概要

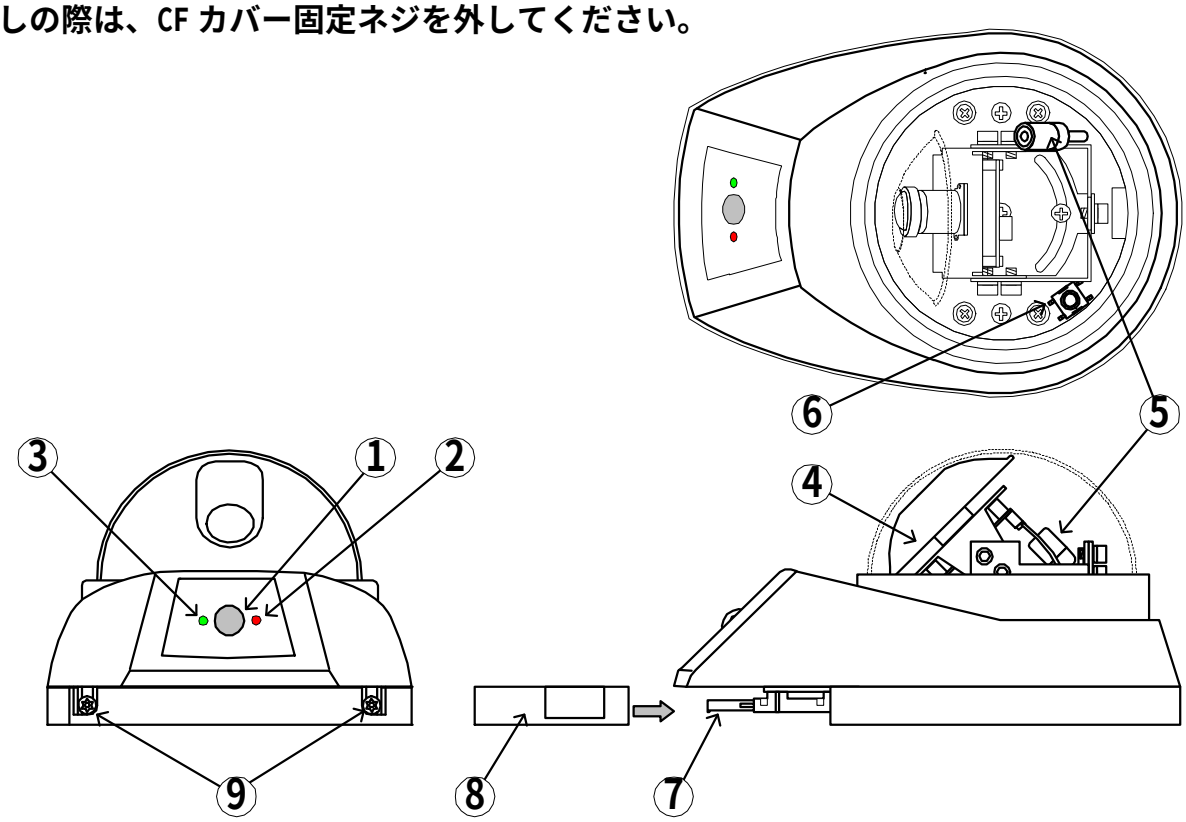
本製品は、カメラから撮影した映像をコンパクトフラッシュメモリ(CF)に記録するレコーダです。

<特徴>

- **カメラ部、画像記録部、制御部をカメラケースに一体化させたオールインワン設計です。**
  この設計により、取り付け、配線、取扱いが容易になっています。
- **CF カードに映像を記録でき、パソコンでの再生がスピーディになっています。**
- **電源投入することで自動的に監視を開始します。**
- **人感センサにより、無駄な映像を除いた録画が可能です。**

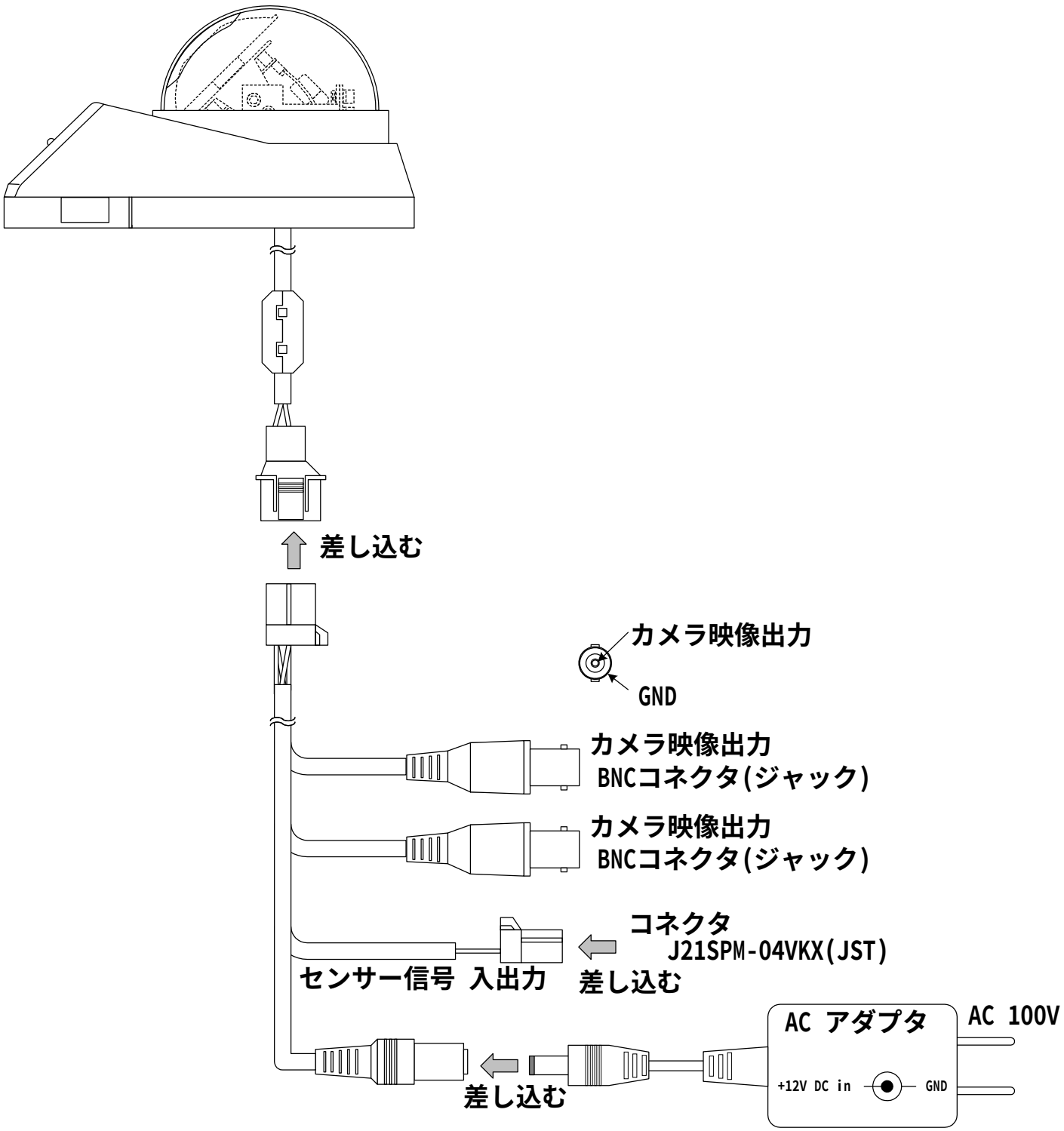
4.各部の名称

①人感センサ：設置した周辺の人体を検出して記録します。
②異常インジケータ(赤色)：動作状態を表すために通常時は点滅し、異常を検出した場合には点灯します。
③記録状態インジケータ(赤色)：動作状態を表すために通常時は点滅し、記録時は点灯します。
④CCD カメラ：撮像用カメラです。
⑤モニタ端子：画格調整時、カメラの映像範囲をモニタ確認できます。
⑥時間調整ボタン：時刻合わせをする際のボタンです。
⑦コンパクトフラッシュ(CF)：撮影した画像を記録します。
⑧CF カバー：CF の挿入または取り外しの際、CF カバーを取り外します。
取り外しの際は、CF カバー固定ネジを外してください。



5.接続

CF レコーダ本体のコードに付属の延長コード及び AC アダプタを接続してください。



6.記録方法

１．インジケータ表示より、本製品の動作状態を確認します。異常がある場合は、以下の操作を行います。

インジケータ(緑)	インジケータ(赤)	動作状態	操作
点灯	消灯	記録中(記録待機中)	操作不要
消灯	点灯	機器異常発生中	一度電源を切り、再投入してください。
消灯	１回点滅の繰り返し	CF カード挿入待ち	CF カバーを外し、CF カードを挿入してください。CF カードが挿入されている場合は、一度 CF カードを外してから、再度挿入してください。挿入後、CF カバーを取り付けて記録状態になっていることをインジケータ表示で確認してください。
消灯	２回点滅の繰り返し	CF カード初期化中	初期化終了後、自動的に記録状態になることをインジケータ表示で確認してください。
同時点滅		CF カード取り外し待ち	CF カバーを外し、CF カードを取り外してください。取り外し後、CF カバーを取り付け後に記録状態になることをインジケータ表示で確認してください。

注１：CF カード及び CF カバーを正しく取り付けていない場合は、記録が開始されません。

注２：パソコンにより初期化(フォーマット)した CF カードを挿入した場合、本製品は再フォーマットし自動的に記録状態に変わります。

7.映像の確認方法

手順１．CF カバー固定ネジを緩め、CF カバーを外します。
手順２．インジケータが点滅状態になっていることを確認した後、CF カードを外します。
　　CF カード外さないで、再度 CF カバーを取り付けた場合は記録を再開致します。
手順３．外した CF カードをパソコンの映像再生ソフト(付属 CD-ROM)にて再生します。映像再生
　　ソフトの取扱方法については、映像再生ソフト取扱説明書を参照ください。
注：CF データの消去・書換えは行わないでください。本製品が正常動作しない場合がございます。

8.時刻合わせ

手順１．正しい時刻表示がされている時計を本レコーダで撮影します。
手順２．撮影した時計の映像をパソコンの映像再生ソフト(付属 CD-ROM)にて再生し、映像再生ソフトの表示時刻と撮影された時計の表示を比較します。映像の再生方法は付属 CD-ROM にある取扱説明書をご参照ください。

手順３．本製品の時刻調整を行う場合は、CF カバーを外した状態で各自の 00 分、10 分、20 分、30 分、40 分、50 分のタイミングに合わせて時刻調整ボタンを押してください。
注：本製品の内部時刻が５分以上ずれている場合は、数回調整を行う必要がございます。
手順４．手順１、２より時刻合わせが正しく行われたことを確認してください。

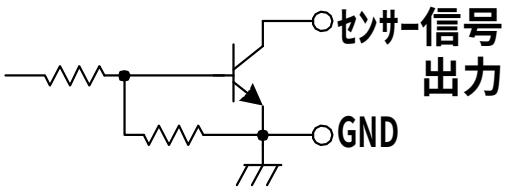
9.センサ信号

本製品は人感センサからの検知状態を外部出力できます。また、外部からの信号入力によって人感センサの検知状態を発生させることが可能です。

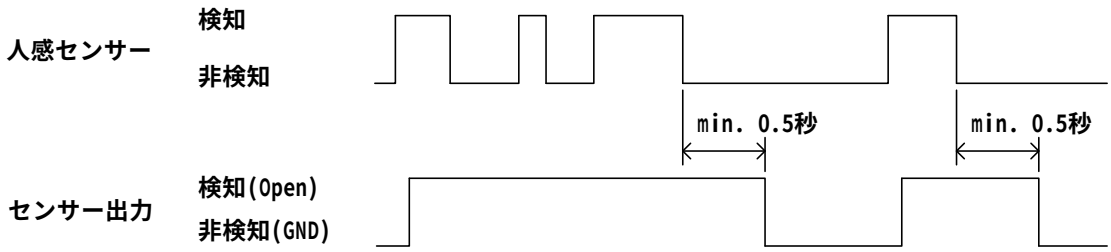
<センサ信号出力>

・回路

オープンコレクタ出力（Open:検知、GND：非検知）



・保持時間：0.5 秒以上

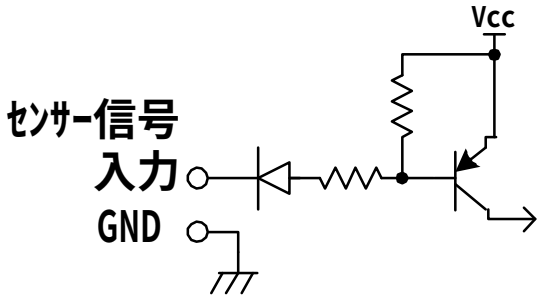


センサ出力タイミング

<センサ信号入力>

・回路

無電圧入力（Open：停止、GND：録画）

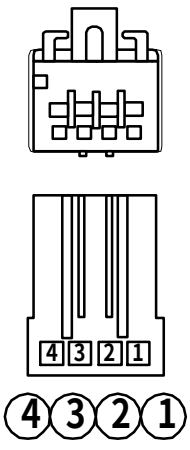


<コネクタ>

適合コネクタは以下の通りです。

コネクタ(ハウジング)：J21SPM-04V-KX(JST)

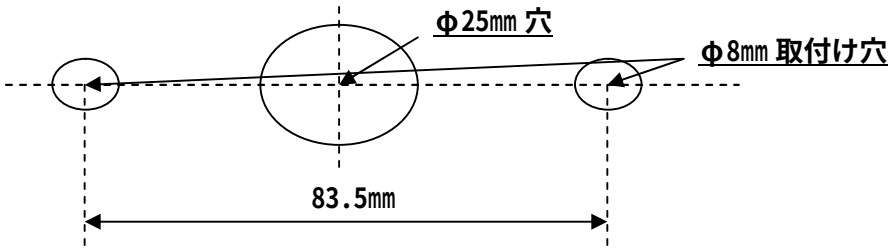
適合コンタクト：SJ2M-002GF-M1.0N、SJ2M-01GF-M1.0N、SJ2M-21GF-M1.0N、SJ2M-01GF-M1.0S



ピン No.	信号名
1	センサ信号出力
2	NC
3	センサ信号入力
4	GND

10.取り付け方

手順１．本製品を取り付ける場所にφ25㎜の穴及びφ8㎜の取付け穴をあけ、付属のゴムナットをφ8㎜の取付け穴にセットします。



手順２．M4 ネジ(付属品)を使用してベースを取り付ける面に固定します。

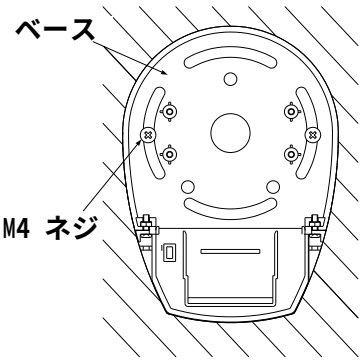
手順３．製品本体からカバーリング、ドームカバー(黒)、クリアカバーを外し、カメラ角度調整ネジを緩めます。天井に取り付ける場合は、カメラ側面の角度調整ネジ４つを外してカメラの天地を入れ替えてください。

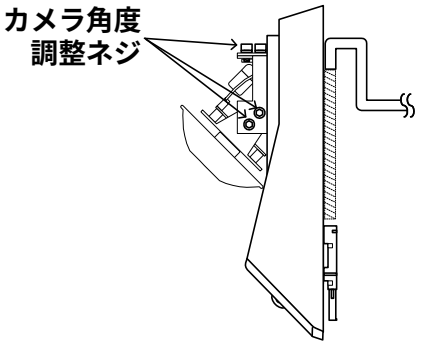
手順４．ケーブルをベースの中心穴に通した後、防塵ゴムカバー(付属品)をケーブルに挟み込みベースの中心穴に取り付けます。ケーブルを強く引っ張ると故障の原因になりますのでご注意ください。

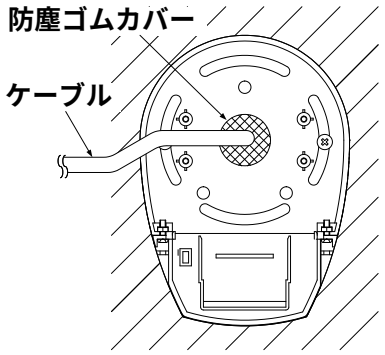
手順５．ベースに製品本体をかぶせてタッピンネジ(付属品)で固定します。ケーブルの挟み込みにご注意ください。

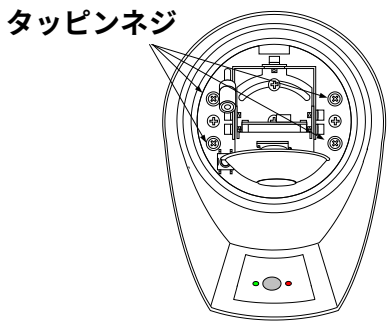
手順６．カメラ角度を調整した後、カメラ角度調整ネジを固定します。ここで、カメラの出力映像の確認も行います。映像が不鮮明の場合、レンズのピントを合わせてください。
ピント合わせの際はレンズを汚さないようにレンズを回してください。

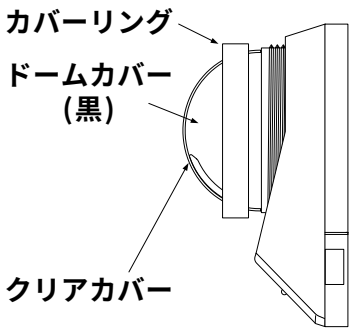
手順７．ドームカバー(黒)の開口部にカメラレンズが位置するように本体に取り付けた後、クリアカバーをかぶせてカバーリングを締めます。ドームカバーは、本体側の爪にしっかりと押しつけて取り付けてください。最後にクリアカバーを回して締めると、堅く固定できます。











11.仕様

<本体>

寸法	約 110.0mm(W)×152.5mm(H)×83.0mm(D) ケーブル長　約 50cm
使用温度/湿度	-10～50℃/90℃以下(結露無きこと)
保存温度/湿度	-20～60℃/90℃以下(結露無きこと)
電源	DC12V ±10% 付属　AC アダプタ 入力：AC100～120V　50/60Hz 出力：DC12V　1A
画像記録方式	JPEG 準拠
記録周期	1 枚/秒
記録方法	アラーム記録(人感センサ及びセンサ入力に連動)
記録期間	アラーム発生の３秒前～アラーム終了の５秒後
記録媒体	CF カード
記録容量	73 時間以上(CF カード 32GB 時) 容量に空きが無い場合は最古記録から上書きします

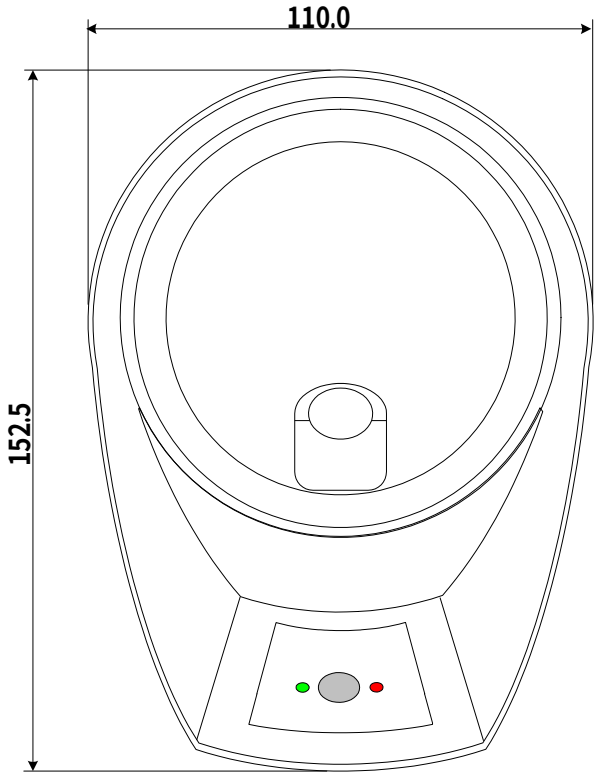
<カメラ>

撮像デバイス	カラー1/4 ” CCD
有効画素数	768(H)×494(V)　約 38 万画素
水平解像度	430TV
テレビジョン方式(映像出力)	カラーNTSC 準拠
同期方式	内部同期
レンズ仕様	水平画角：約 118 °　垂直画角：約 90 ° (f=1.9mm F2.0)
電子アイリス	AUTO(1/60～1/100,000sec)
ホワイトバランス	AUTO
AGC	ON 固定
モニタ端子(画像確認用)	カラーNTSC 準拠 注：カメラ設置以外は使用しないでください

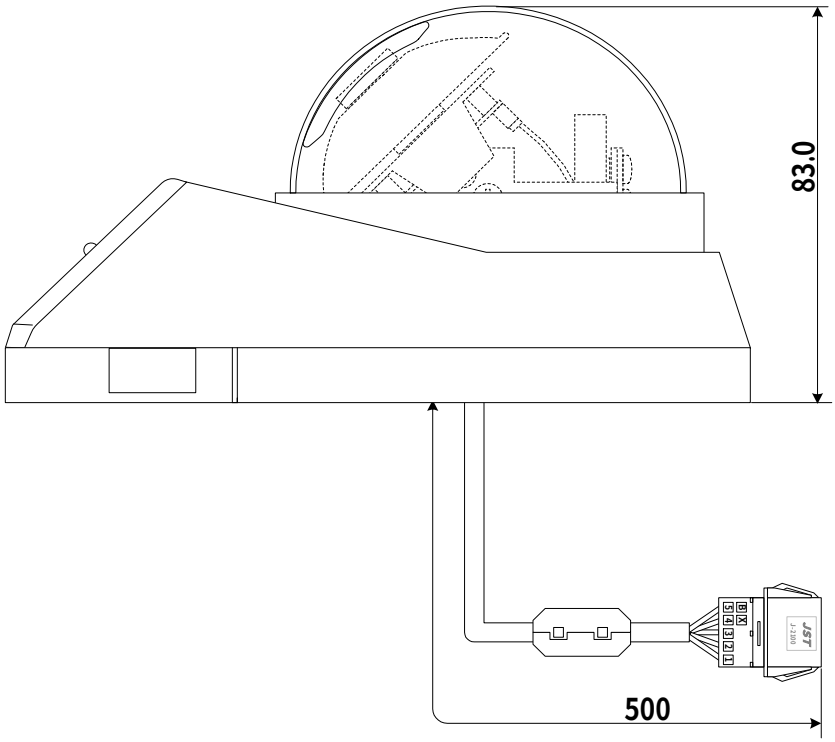
<人感センサ>

検出距離/方向	3m(最低保障距離)/人体と光軸方向
検出方式	周囲と温度差のある人体(物体)の動きを検出します

12.外形寸法図



上面部(単位：㎜)



側面部(単位：㎜)

13.故障？と思われる前に

故障？と思われる前に、以下の項目をお確かめください。

症状	原因	処置方法
映像が不鮮明	レンズ汚れ、もしくはピントのズレ	レンズを柔らかい布で拭き汚れを落とした後、ピントを合わせてください。
映像がちらつく	蛍光灯の光が入っている	蛍光灯の光が映ると、映像がちらつくことがございますが、故障ではございません。
記録状態にならない	CF カードが挿入されていない	本体内部に CF カードが正しく実装されているか、ご確認ください
	CF カバーが外れている	CF カバーが正しく取り付けられているかご確認ください
人感センサが反応しない	センサ部の汚れ	センサ部を柔らかい布で拭いてください

14.アフターサービス

<修理のご依頼>
製品が正常動作しない場合、「ご使用いただく前に」及び「故障？と思われる前に」をもう一度ご覧いただいた上で、異常がある場合は弊社にご連絡ください。

<おことわり>
本製品は不法侵入・災害などを映像で監視するものであり、盗難防止機、災害防止機ではございません。万一発生した盗難事故、人身事故、災害事故及び製品のご使用方法の誤り、保守点検の不備、天災地変(誘導雷サージ含む)などによる事故損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

製造元：プライムテックエンジニアリング株式会社

注：外観・仕様は改良のため予告無く変更する場合がございますのでご了承ください。